

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【公開番号】特開2004-279029(P2004-279029A)

【公開日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2004-039

【出願番号】特願2004-196198(P2004-196198)

【国際特許分類】

F 2 4 F 1/00 (2006.01)

F 2 5 B 1/00 (2006.01)

F 2 5 B 39/00 (2006.01)

F 2 8 F 1/00 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 1/00 3 9 1 B

F 2 5 B 1/00 3 9 5 A

F 2 5 B 39/00 E

F 2 8 F 1/00 B

F 2 4 F 1/00 3 9 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月18日(2006.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

冷凍サイクルの蒸発器または凝縮器に用いられ2列の伝熱管を重ねて形成された熱交換器を有し、送風機により室内空気を吸い込み、吹き出す室内機において、前記冷凍サイクルの作動流体は2種類以上の非塩素系フルオロカーボンを混合してなる冷媒とし、2列の前記伝熱管のうち一方が接続された液冷媒側分配器と、他方が接続されたガス冷媒側分配器と、伝熱管の外部で伝熱管の軸方向に略垂直に配置されたフィンとを備え、前記伝熱管による前記冷媒を分配する多段のパスのそれぞれの長さは前記熱交換器の長さの約1往復分の長さであり、前記パスは前記2列のフィンを通過し、空気の流れる方向に対して上流側の前記フィンに組み立てられた伝熱管が液冷媒側分配器に接続され、下流側の前記フィンに組み立てられた伝熱管がガス冷媒側分配器に接続されたことを特徴とする室内機。

【請求項2】

請求項1において、前記2列の前記伝熱管を冷媒が通過するように前記伝熱管の同一段が接続されたパスを備えたことを特徴とする室内機。